

地域計画策定に向けた話し合い（北城北部、青鬼地区）要旨

日 時：令和6年7月29日（月）15：00～16：30

場 所：白馬村役場201・202会議室

出席者

白馬村農政課	田中（洋）課長、柏原係長、大塚係長、太谷主任 久米主事、中野主事
白馬村営農支援センター	降旗次長
北アルプス農業農村支援センター	佐原係長、松崎係長
JA 大北北部営農センター	森課長代理
白馬村土地改良区	田中（浩）事務局長
白馬村農業委員会	松沢（正）会長、太谷職務代理
〃	福島（利）委員（有）マイテカル
〃	津滝（明）委員（白馬農場）、
〃	横川委員、平瀬委員、太谷委員、矢口（公）委員、下川（浩）委員 塩島委員
農地最適化推進委員	武田（克）委員、矢口（慶）委員
北城南部ほ場整備実行委員長	吉沢氏
認定農業者	北澤氏

計 25 名

1. 開会

白馬村農政課 田中課長が開会を宣言した。

2. あいさつ

○白馬村農業委員会 松沢会長

本日は、お忙しい中、白馬村地域計画策定に向けた話し合いにご参集いただき感謝する。地域計画とは、以前までの、人・農地プランが、法律改正により令和5年4月から地域計画となり、作成が義務付けとなった。昨年11月に懇談会も開催し様々なご意見を頂いた。また、地域計画に添付する目標地図は、今後、全国的に農業従事者の激減が予想されているため、概ね10年後、地域の農地を、どの認定農業に託すか、お願いするかを、話し合いにより、地域の農業委員会が素案を作成する。昨年11月以降、白馬村農業委員会では何度か話し合いを行い、現況地図を作成した。

本日は10年後の耕作予定者について、お集まりの皆様にご意見を頂き、素案を作成し11月の懇談会で示したい。その後、令和7年2月までに村が地域計画とともに公表する予定である。優良農地確保という面では、神城地区は、ほ場整備が完了しているが、北城地区は、現在、深空地区周辺、真畔地籍は工事中であり、新田周辺は、ほ場整備申請に向け準備が進んでおり、これに伴い農振農用地の見直しも予定している。

白馬村の農業は観光と並ぶ産業のひとつで、農地は景観形成という側面も持っている。本日は、

限られた時間だが、村の農業の将来のために、共通認識を図りたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

○北アルプス農業農村支援センター 佐原係長

今回の話し合いについては、10年後を見据えた農地の在り方などについて、想像しながらまとめていくという作業である。

20年後には農業従事者が4分の1になる見通しであり、1人当たりの収量を上げていく必要があるといわれているが、資材や人件費の高騰、平均年齢も高いため、認定農業者でも経営が厳しいのではないかと実感している。そのため、10年後に出来るだけ効率的な経営をするということも視野に入れ、ぜひ農家の皆さんで話し合いながら、今後この地域を引っ張っていただきたいと思います。

3. 現況地図に基づく話し合い

○白馬村農政課 大塚係長が別紙資料1～6について説明した。

資料1 「地域計画」「目標地図」策定における農業委員会、認定農業者の役割について

資料2 白馬村の認定農業者（担い手）の状況について

資料3 ほ場整備の状況について

資料4 農業振興地域整備計画の見直しについて

資料5 第23回 白馬村の農林業（農地利用の意向アンケート）

資料6 地域計画パンフレット

○白馬村農政課 久米主事が別紙資料、認定農業者、色分け凡例、農業振興区域について説明した。

○出席者が現況地図を基に神城地区目標地図について意見交換した。結果は11月の懇談会までに目標地図に反映することとした。

次回、地域計画策定懇談会（北城川南）は、8月下旬開催する。

4. 閉会

白馬村農政課 田中課長が閉会を宣言した。